

地域医療連携室ニュース

発行 公立阿伎留医療センター

編集 地域医療連携室

TEL 042(558)0321

FAX 042(550)5190

当院は、急性、亜急性期疾患を担う中核病院として、近隣医療施設との密接な連携を保ち住民と病む人が満足し安心、安全、かつ納得の頂ける質の高い医療サービスを提供する医療センターを目指しております。

今月は、内科医長の北森要一郎先生から、劇症1型糖尿病の主要病態・症状などについてご説明いたします。



劇症1型糖尿病について

糖尿に対する皆さんのイメージは、どのようなものでしょうか？

「食べすぎ、運動不足、甘いものが好き」などではないでしょうか。

これは、いわゆる2型糖尿病に当てはまるもので、多くの患者さんがこの型の糖尿病です。

内科医長

北森 要一郎

1型の糖尿病、つまり膵臓からインスリンが全くなってしまう糖尿病という

と、子供の病気と思われがちですが、決してそうではありません。成人でも1型糖尿病の方はいらっしゃいます。また、その発症様式は様々で、何年にも渡ってゆっくり進行する緩徐進行型や、わずか1週間程度で1型糖尿病となってしまう劇症型等が存在します。

今回はこの劇症1型糖尿病について述べます。

以下に劇症1型糖尿病診断基準を掲げます。

1. 糖尿病症状発現後、1週間前後以内でケトosis、あるいはアシドーシスに陥る
2. 初診時の(随時)血糖値が288mmg/dl以上であり、かつHbA1c値<8.5%である
3. 発症時の尿中Cペプチド<10 μ g/day、または、空腹時血糖Cペプチド<0.3ng/ml

かつグルカゴン負荷後(または食後2時間)血清Cペプチド<0.5ng/mlである

以上の1~3のすべての項目を満たすものを、劇症1型糖尿病と診断する。

参考所見

A) 原則としてGAD抗体などの膵島関連自己抗体は陰性である

B) ケトosisと診断されるまで原則として1週間以内であるが、1~2週間の症例も存在する

C) 約98%の症例で発症時に、何らかの血中膵外分泌酵素(アミラーゼ、リパーゼ、エラスターゼ1など)

が上昇している

- D) 約 70%の症例で前駆症状として、上気道炎症状(発熱、咽頭通など)、消化器症状(上腹部痛、悪心・嘔吐など)を認める
- E) 妊娠に関連して発症することがある

つまりは、ほんの1週間までは、糖尿病の影も形もなかったが方が、たった1週間後にはインスリンが手放せない1型糖尿病になってしまうということです。

全く偶然に、1週間前に健康診断を受けていて、糖尿病は全くないと診断されていた方が、著しい高血糖で救急来院された経験があります。余りの急激な生活の変化に大きなショックを受けていました。このような1型糖尿病患者さんに、「あなたは食べすぎだ」、というのは正しくありません。無論、節制は必要ですが、適切なカロリーとしっかりとしたインスリン注射を行うことが重要です。

9月の医師の人事異動

採用	9月 1日付		
常勤	産婦人科部長	小林 久晃	
非常勤	皮膚科	石田 正	
退職	8月31日付		
非常勤	皮膚科	佐藤 典子	

9月の医局学術講演会のお知らせ

9月は中止と致します。

秋川流域市民健康フォーラムのお知らせ

あきる野市医師会共催

9月 5日(日) 13:30～16:00

秋川キララホール

「肝炎・肝癌の克服を目指して - どうすれば肝炎・肝癌から命を守れるか-」

7月の紹介患者数と画像検査数をご報告致します

FAXによる紹介患者は137人、また紹介状持参による紹介患者は260人で、合計397人でした。CT・MRIの画像検査のFAX紹介は46人でした。ご紹介誠にありがとうございました。

なお、FAXの申込時間は、『FAX受診申込書』で、9時から16時30分になっております。

公立阿伎留医療センター宛専用の情報提供書、封筒等用意しております。

ご利用の際には、下記担当者までご連絡をお願いいたします。また、地域医療連携に関するお問い合わせについても、担当者がお受けいたしますのでご連絡下さい。

地域医療連携室 担当責任者:茅野和子 電話番号 042-558-0321 内線2123